

Color Gallery

ヘッドライン

博物館を活用した化学教育の可能性

博物館における化学教育 —国立科学博物館における取り組み—

若林文高



■科博での化学系展示

国立科学博物館（科博）の地球館地下3階の「自然のしくみを探る」展示の「物質を探る」コーナーは、2004年11月にオープンした。左の写真は、時田澄男埼玉大学名誉教授にご協力いただいた電子雲の立体模型。2p軌道や3d軌道をいろいろな方向から眺めると、教科書などで2次元的に見たときとはイメージがだいぶ違うことにきっと驚かされるはずだ。

■元素の単体の実物で見る周期表

1981年秋に当館で日本化学会との共催で開催された「化学展'81」の時に初めて作られ、その時に集められた単体標本を基本として、その後2回作り直された。放射性元素以外のすべての元素の単体の実物を展示している。世界的にも珍しいようで、外国からのお客さんが熱心に見ていることがある。



■教員向けの化学実験講座

科博では小5～中3対象の「楽しい化学の実験室」（年5回）、高校生対象の「高校生のための化学実験講座」（年2回）、主に教員対象の「化学実験講座」（年5回）を実施している。最近では、教材研究に熱心な中高の先生方が講師をされる機会が増えている。開発した教材を、ここで試し、ブラッシュアップする場ともなっている。